

社会を明るくする運動 田村地区大会開催

第五四回社会を明るくする運動田村地区大会並びに第二十回田村郡中学校弁論大会が、七月六日、小野町多目的研修集会施設大ホールにおいて、田村地区保護司会を始め、小野中学校二・三年生と浮金中学校全生徒、関連する団体や町民の方々、約五百三十人が参加して開催されました。

『社会を明るくする運動』とは、「ふれあいと対話が築く明るい社会」をスローガンに、すべての国民が、犯罪の防止と、罪を犯した人たちの更生について理解を深め、少年少女達を非行から守り、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。

田村郡中学校弁論大会では、各中学校からの十五名の代表者が、自らの日常生活や学校生活、ボランティア活動などから感じた思いや、考えたことなどを発表しました。

最優秀賞は三春中学校渡辺愛さんが、最優秀校も同中学校が



浮金中代表 石井千尋さん



小野中代表 阿部祐太郎君

手にし、小野町からは小野中学校三年阿部祐太郎君・浮金中学校三年石井千尋さんが演壇に立ち、共に努力賞を受賞しました。梅雨明け前とはいえ、とても暑い日で、悪条件の中でしたが、代表の十五人は堂々と自らの主張に熱弁をふるっていました。

小野町青少年育成町民会議主催による、平成十六年度少年の主張作文コンクール発表大会が七月二日小野中学校体育館で開催されました。

この大会は、中学生が日頃考えていること、感じていることを発表することにより、社会の一員としての自覚を高めるとともに、青少年の健全育成を図ることを目的に開かれています。

大会では、主催者あいさつに続き審査委員紹介のあと、一年生から順に発表が行なわれました。発表者は、小野中、浮金中から十二名が選ばれ学校、家庭、社会等の身のまわりについて日頃考えていることをテーマに、それぞれの意見、体験を発表しました。

審査の結果は次のとおりです。
(敬称略)

最優秀賞

「命あふれる夏井川」

小野中一年 小荒井 一真

優秀賞

「私の願う未来」

小野中一年 近野 未沙紀

少年の主張作文コンクール 発表大会を開催



最優秀賞の小荒井一真君

七月五日、飯豊小学校緑の少年団による「花いっぱい運動」が展開され、全校児童で育てたマリーゴールドのプランターが役場をはじめ各公共施設に寄贈されました。

この「花いっぱい運動」は、緑の大切さを認識し、緑を守り育てる活動として、「校舎周辺」や地域、町全体を花でいっぱいにしたい」との考えから、毎年同校緑の少年団が実施しているものです。

プランターの寄贈には、団員代表の児童と先生・保護者が訪れ、全校児童が大切に育てたプランターを町長に手渡しました。

飯豊小学校

緑の少年団が

「花いっぱい運動」

を展開



プランター寄贈のもよう